

事務事業 No./名 称	■サービス部門 市民-02 市民活動支援事業 □支 援 部 門						
主管課	地域のつながり推進課		関連課				
分野名	市民参画・協働の推進						
目標 (目標値)	NPOと市が共に汗する仕組みづくりを確立し、実践する。						
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考		
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
	事業の対象者数	20,256人	20,162人	19,922人			
運営資源 状 況	決算値(千円)	9,228	9,418	8,905			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	9,228	9,418	8,905			
	人員配置数	3.1	3.4	1.4			
	人件費(千円)	25,476	29,304	12,066			
	協働の パートナー	市民活動センター運営会議	市民活動センター運営会議	市民活動センター運営会議			
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	34,704	38,722	20,971			
	市民1人当 りの経費(円)	196	219	118			
	対象者1人 当りの経費(円)	1,713	1,921	1,053			
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒						
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
協働事業件数	△	目標値	21件	24件	27件	30件	33件
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	20件	23件	23件	24件	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
市民活動支援事業	9,209千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	市民活動センターの指定管理者制度による管理運営、協働事業の推進を行った。NPO法人への寄附促進のため、申出があったNPO法人を条例で指定した。				
市民活動運営事業	19千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	市民活動部及び地域のつながり推進課に係る経理・庶務を行った。				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	市民活動団体と市による相互提案協働事業は、事業提案の減少や事業の継続が課題であったため、平成24年度から新たな仕組みに基づき募集を行ったが、提案の件数が大幅に増加していない。		
課題解決のための取組	更に効果的な手法を検討するため、地域のつながり推進課として積極的に協働事業の可能性を追求していく。また、職員の協働事業に対する更なる意識の醸成に努める。	取組の結果	□解 決 ■未解決
未解決の課題	事業の継続性を担保するため、別枠での予算措置を廃止して、担当課の経常経費の中で対応することとしたが、毎年のマイナスシーリングにより、担当課の経常経費から協働事業を新たに始めるための財源を捻出することが困難である。相互提案協働事業を進めるための財政面のインセンティブの付加などの検討が必要。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
	➡	②妥当性 ○		提案事業の減少や継続が課題であったことから、平成24年度以降の相互提案協働事業の見直しを行ったが、提案件数の大幅な増加にはつながっていない。相互提案協働事業を進めるための財政面のインセンティブを付加するなど、発展に向けた更なる検討を進めていく。	課長等名
		③有効性 ○			
		④公平性 ○			
				↓ B	課長(代理) 磯崎 勇次

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
市民活動支援事業	主な個別事業	998 協働事業選考委員会委員等報酬	42	52	○	○	○	○
		998 市民活動センター維持修繕料	100	69	○	○	○	○
		998 市民活動センター指定管理料	8,900	8,900	○	○	○	○
		998 エアコン室外機保守点検委託料	16	16	○	○	○	○
市民活動運営事業	主な個別事業	1301 消耗品費	25	19	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							